

国会通信

茨城選出の議員

原発の風評被害
払拭へ努力要望

民進・藤田氏

民進党の藤田幸久氏(参院茨城)は21日、参院東日本大震災復興特別委員会で質問に立ち、東京電力福島第1原発事故による本県農産物の風評被害がいまだに続いているとして、払拭に

向けたさらなる努力を政府に求めた。

藤田氏は、県が農林水産物の放射性物質検査をして分かりやすく公表したり、農家が農業生産工程管理(GAP)の認証取得に積極的に取り組んだりするなど、県全体で風評被害払拭に努めていることを強調。

その上で、国や県の調査を基に大都市圏を中心に購入を控える人が多いとして、「(本県から)遠いところで悪いイメージが残っている。流通段階で悪いイメージを持たれると影響が大きいので、影響緩和に向けた対応をしてほしい」と訴えた。

今村雅弘復興相は「茨城県での取り組みは承知しており、農産物が安全なことははっきりしている。どこに問題があるのか調査しながら今後の対策を立てたい」と答えた。